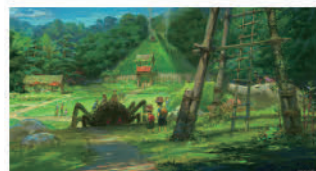
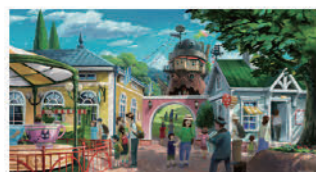


待ち遠しい! 第2期オープン



4 ものけの里 2023年秋
映画『もののけ姫』をモチーフとした里山の風景のなか、「タタラ場」(体験学習施設)、「炭焼き小屋」、休憩処などが整備されます。



5 魔女の谷 2024年3月
映画『魔女の宅急便』、映画『ハウルの動く城』などがモチーフの北ヨーロッパ風のエリア。庭園や「ハウルの城」、休憩・レストラン棟が整備されます。

information

- 所在地
長久手市茨ヶ廻間乙1533-1
愛・地球博記念公園内
- 愛知高速鉄道東部丘陵線(リニモ)
「愛・地球博記念公園」駅下車すぐ
※専用駐車場はありません
- 営業時間
平日 10:00~17:00
※学校の長期休暇期間の平日は9:00~17:00
土・日・休 9:00~17:00
- 休園日
毎週火曜(火曜が祝日の場合は翌平日)
※学校の長期休暇期間は営業
年末年始及びメンテナンスなどの指定日
- チケット料金

エリア	大人	子供 (4歳~小学生)
ジブリの大倉庫	平日 2,000円	平日 1,000円
	土・日・休 2,500円	土・日・休 1,250円
青春の丘	1,000円	500円
どんどこ森	1,000円	500円

※チケットはすべて日時指定の予約制。
1月入場分・先着順販売
11月10日(木)14時~

※上記金額は税込みです。※3歳以下は入場無料です。
※ジブリパーク指定の障害者手帳を持っている人と
同伴者1人までは各券種の半額料金になります。
※別途、システム利用料(1枚につき110円)がかかります。
※チケットの購入方法等、詳細はウェブサイトでご確認ください。

ジブリパークから地域の皆様へ

100年後も地域に愛される公園施設に
おかげさまで、ジブリパークは11月1日に第1期開園を迎えます。たくさんのご支援をありがとうございます。
好きなスタジオジブリ作品やキャラクター、シーンが十人十色なるように、ジブリパークもご来園の皆様がそれぞれの楽しみ方をたくさん見つけていただくと大変うれしいです。何度も足を運んでいただき、100年後も地域の皆様へ愛され続ける公園施設になることを目指し、日々の運営に当たります。
末永いお付き合いをよろしくお願いいたします。
(株)ジブリパーク広報宣伝部

2

パークのメインエリア ジブリの大倉庫

ジブリの秘密が詰まった「ジブリの大倉庫」。映画『借りぐらしのアリエッティ』の「床下の家と小人の庭」や映画『天空の城ラピュタ』の「天空の庭」、子どもの遊び場「ネコバスルーム」など、見て、遊んで、楽しめます。

みどころ①
映像展示室オリオン座



座席数約170。三鷹の森ジブリ美術館の短編アニメーション全10作品を上映します。開園時は「くじらとり」を上映

みどころ②
企画展示



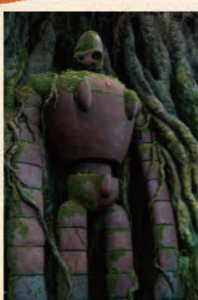
※2017年三鷹の森ジブリ美術館企画展示「食べるを描く。」より
開園時は「ジブリのなりきり名場面展」、「食べるを描く。」増補改訂版、「ジブリがいったい展」の3本を展示。「ジブリのなりきり名場面展」では映画『千と千尋の神隠し』に登場するカオナシの横に腰掛け、千尋になりれます

みどころ③ ショップ&カフェ



ショップ「冒険飛行団」、「カフェ 大陸横断飛行」、「ミルクスタンド シベリ・あん」では、「ジブリの大倉庫」だけのオリジナル商品をお販売

他にもみどころ いっぱい!



映画『天空の城ラピュタ』に登場するロボット兵



映画『となりのトトロ』のカラフルなネコバス



色鮮やかなタイルで装飾された中央階段



天窓の下には全長約6mの「空飛ぶ巨大な船」



映画『千と千尋の神隠し』の湯婆婆の執務室

1

来園者を迎えるパークの象徴 青春の丘

来園者を迎え、ジブリ作品の世界へ誘う「青春の丘」。映画『耳をすませば』に登場する「地球屋」、「ロータリー広場」のほか、映画『猫の恩返し』に登場する「猫の事務所」が建てられています。

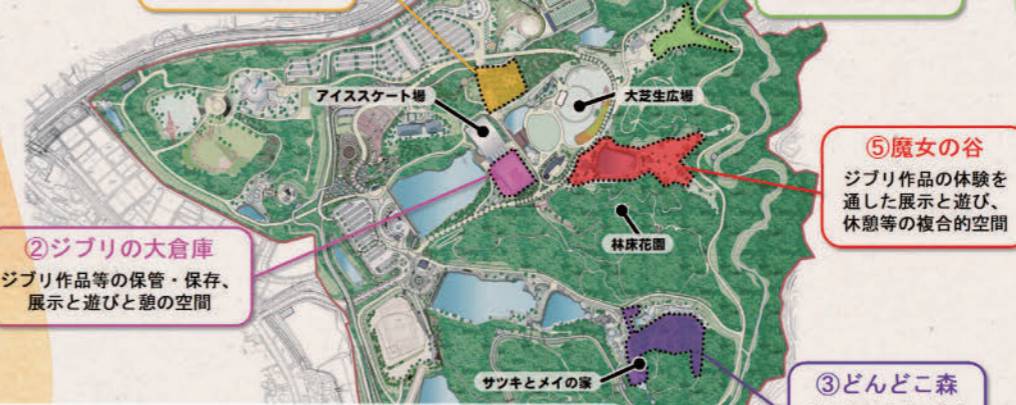


「地球屋」のベランダからは園内を一望できます



19世紀末の空想科学世界をもとにデザインされた「エレベーター塔」

①青春の丘
来園者を迎え、導くジブリパークの象徴



④もののけの里
あいちサトラボと一体となった体験の場

②ジブリの大倉庫
ジブリ作品等の保管・保存、展示と遊びと憩いの空間

⑤魔女の谷
ジブリ作品の体験を通じた展示と遊び、休憩等の複合的空間

③どんどこ森
サツキとメイの家と自然空間



映画『借りぐらしのアリエッティ』の床下の家



ネコバスルームにそびえる樹の中には…?

3

待ちに待った! 11月1日ジブリパークオープン

巻頭特集

ジブリの世界へ 出かけよう

ジブリパークは、「愛・地球博記念公園(モリコロパーク)」内に豊かな自然を生かしてつくられるスタジオジブリ作品の世界を表現した公園です。
11月1日に「青春の丘」「ジブリの大倉庫」「どんどこ森」の3エリアがオープンします。

3 昭和の田園風景が広がる どんどこ森

映画『となりのトトロ』の「サツキとメイの家」を中心に、のどかな昭和の雰囲気が広がる「どんどこ森」。「サツキとメイの家」の裏山の頂上にある木製遊具「どんどこ堂」では、子どもたちが中に入って遊べます。



高さ5.2mの「どんどこ堂」。小学生以下が遊べます



「サツキとメイの家」は、昭和30年代の和洋折衷の住宅がモデル

自然や既存施設を生かして整備

スタジオジブリと愛知県が「ジブリパーク整備構想」に合意してから5年。いよいよジブリパークがオープンを迎えます。
ジブリパークは、いわゆるテーマパークではなく、大きなアトラクションや乗り物はありません。森や道を自分の足で歩いて楽しむ公園施設です。「自然の叡智」をテーマに開催された愛知万博の理念を継承するため、公園の歴史の成り立ちや利用者の思いに配慮しつつ、既存施設や未利用地を活用して整備が進められました。
今回オープンする3エリアと来以降オープンする2エリアを合わせた約7.1ヘクタール。愛・地球博記念公園約194ヘクタールのうち、3.7%がジブリパークになります。

年代を問わず楽しめる 魅力いっぱいの3エリア

公園北口がジブリパークへと導くメインゲート。ゲートの奥に広がる北口広場は、愛・地球博記念公園の総合案内所や休憩所、売店、トイレ棟を新設し、ジブリパークと調和した装いに再整備されました。
まず、来園者を迎えるのが「青春の丘」です。「エレベーター塔」は、デザインを一新。映画『天空の城ラピュタ』などの世界のモデルとなった、19世紀末の空想科学世界をもとにデザインされました。